令和７年２月１日

かりや 市議会だより

〈第178号〉

議会だよりは市民の皆さんと
議会をつなぐ「かけはし」です
ぜひ御一読を

かつなりくん

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～

主な記事　ページ
議決した議案　2～3
委員会視察の報告
委員会の動き　4～5
一般質問　6～8

12月定例会のあらまし

この定例会は12月4日に招集され、会期17日間で12月20日に閉会しました。
今回は議案など36件が提出されました。

◆12月4日　本会議
（議案の大綱説明）
・市長による議案の大綱説明

◆4日～6日　本会議
（一般質問）
・17人の議員による一般質問

◆6日　本会議
（議案説明・審議、委員会付託）
・選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙についてそれぞれ4人が当選
・専決処分について（令和6年度刈谷市一般会計補正予算（第4号））承認
・固定資産評価審査委員会委員の選任について同意
・人権擁護委員の候補者の推薦について異議ない旨答申
・土地区画整理事業に伴う町及び字の区域の設定についてなど19議案を関係する委員会に付託
・令和6年度刈谷市一般会計補正予算（第5号）など7議案を予算審査特別委員会に付託
・刈谷城建設の是非について刈谷市民にアンケートを求める請願など4件を関係する委員会に付託

◆6日　予算審査特別委員会
・各分科会を設置

◆10日～13日　委員会、分科会
・議案、請願を審査及び採決

◆19日　予算審査特別委員会
・補正予算議案を採決

◆20日　本会議（採決）
・議案（既決議案を除く）は全て原案可決
・請願は全て不採択
・令和6年度刈谷市一般会計補正予算（第6号）が追加上程され、原案可決
・刈谷市議会個人情報保護条例の一部改正についての議員提出議案が追加上程され、原案可決
・傍聴者は延べ80人

＊3月定例会の開催予定＊

2月12日(水)議会運営委員会(運営を協議)
14日(金)本会議(開会、施政方針、議案説明など)
26日(水)本会議(質問質疑など)
27日(木)本会議(質問質疑など)
28日(金)本会議(質問質疑など)
予算審査特別委員会
3月 4日(火)企画総務委員会・分科会
5日(水)福祉産業委員会・分科会
6日(木)建設委員会・分科会
10日(月)市民文教委員会・分科会
21日(金)予算審査特別委員会
議会運営委員会(運営を協議)
24日(月)本会議(委員長報告、採決など)

各会議は10時から17時まで（進行状況などにより、変更する場合があります）。傍聴の際は、当日次の受付へ。
本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所９階、議会事務局受付

○**託児を希望される方へ（生後６か月以上の未就学児、先着順）**
臨時保育室「カンガルールーム」を御利用いただけます。
傍聴希望日の１週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○**手話通訳・要約筆記を希望される方へ**
傍聴希望日の１週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○**質問質疑等ＫＡＴＣＨ放送（地上デジタル112チャンネル）**
２月19日(水)、３月４日(火)、７日(金)、12日(水)でいずれも10時から。
詳しくは㈱キャッチネットワークのホームページを御覧ください。

・発 行 刈谷市議会　・〒448-8501 愛知県刈谷市東陽町１丁目１番地　・電 話〈0566〉62-1032 Fax〈0566〉25-1111　・編 集 議会広報委員会
・刈谷市議会ホームページ　刈谷市議会　検索
・刈谷市議会かりやっこページ　かりやっこページ　検索

主な議案

12月定例会

（要約して掲載しています）

単行議案

■工事請負契約の締結について（ウイングデッキ整備工事（下部工）（週休2日））

問　ウイングデッキ整備の全体スケジュールはどのようか。

答　令和６年度は基礎部の鋼管杭を製作し、７年度は製作した鋼管杭の打ち込みや基礎部のコンクリートの打設に加えて、柱と上部の桁を製作し、８年度は柱の設置、上部の桁の架設などを予定している。

問　上部工工事の予算や業者の選定方法などはどのようか。

答　ウイングデッキ整備に関する予算は、令和６年度から８年度までの継続費として約13億６千万円を計上しており、そのうち、上部工に関する予算は約７億６千万円となる。上部工は７年度早期の工事発注を目指しており、業者の選定方法としては一般競争入札を予定している。

問　現在工事中の民間再開発ビルとの接続に関する協議はどのようか。

答　刈谷桜町地区の民間再開発ビルとは、ウイングデッキから建物の３階部分に接続できるように協議している。

■指定管理者の指定について（刈谷市青山斎園）

問　豊明市民の火葬の状況はどのようか。

答　令和元年度と５年度で比較すると、火葬件数は１２７０件から１９１８件で６４８件増加しており、増加の主な内訳は、刈谷市民が２３１件、豊明市民が２９２件であり、刈谷市民の増加もあるがそれ以上に豊明市民が増加している。増加に伴い刈谷市民の使用に支障が生じないよう令和６年４月に火葬予約の市民優先制度を導入している。

問　利用者増の影響による管理運営スタッフの体制はどうか、また指定管理者から第三者に再委託することはあるのか。

答　職員は令和元年度が10人、５年度が12人で、２人の増員となっている。再委託については、専門的な知識や技術を要する火葬業務や空調など設備の保守管理業務等を再委託している。

条例議案

■職員の給与に関する条例の一部改正について

問　給与の引上げ根拠は何か。

答　令和６年８月に出された人事院の勧告に準じて職員の給与を改定するものである。

問　物価高騰等で市民の生活が苦しい中で、公務員の給与が引き上げられることに納得がいかないという声があるが、引上げ額や引上げ幅など、今回の改正に正当性があるのか。

答　人事院は、公務員の給与を民間企業の従業員の給与水準と均衡させることを基本とし、毎年の調査により、官民の給与を把握し、その較差を埋めることを基本として勧告している。勧告に準じて給与を定めていくことが合理的かつ市民の理解を得られるものであり、社会一般の情勢に適応するものと考えている。

問　今後の事業の継続性をどのように考えているか。

答　企業版ふるさと納税は、今年度までの時限的な制度となっているが、現在国において制度を５年間延長するための税制改正要望が行われており、制度が終了するまでは本事業を継続的に実施していきたいと考えている。ホームページでは、制度の紹介をより見やすく改善するとともに、実績を積極的にＰＲし、歳入の確保に努める。

住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業

問　事業の内容と目的及び対象となる設備はどのようか。

答　市民が行う創エネルギー、省エネルギー、蓄エネルギーの取組を支援することで、環境保全に対する市民意識の高揚を図るとともに、本市における二酸化炭素排出量の削減を図ることを目的としている。対象となる設備は、太陽光発電システム、エネファーム、住宅用エネルギー管理システムであるＨＥＭＳ、蓄電池、電気自動車等充給電システムであるＶ２Ｈ、太陽熱利用システム及び高性能外皮等である。

問　申請件数はどの程度増加しているか。

答　昨年度と今年度の11月末までの実績で、申請件数は、昨年度と比べて１４０件の増となり、約１・38倍の増加となっている。

※市民の方等から貴重な御寄附を頂きました。補正予算に計上し、活用させていただきます。

・一般寄附金　**６００万円**

・保健衛生事業費寄附金　**１１４万９千円**

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査しました。

12月19日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各分科会委員長から報告を受け、20日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。また、同日、物価高騰対応重点支援給付金支給に関する令和６年度刈谷市一般会計補正予算（第６号）が追加上程され、原案のとおり可決されました。

補正する額（一般会計）
13億４１８４万９千円

補正後の予算総額（一般会計）
７３４億３６９２万８千円

補正後の予算総額（全会計）
１０９７億１１５９万４千円

【主な事業】

刈谷の魅力発信事業

問　企業版ふるさと納税制度の目的や内容はどのようか。

答　企業版ふるさと納税制度は、地方の人口減少に歯止めをかけ、地方創生を目的とし、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合、法人関係税が軽減されるため、民間企業による地方創生の取組への応援が促進される制度である。

問　企業版ふるさと納税の本市への寄附額と市税の減収分となる寄附金税額控除額の過去３か年度の実績はどのようか。

答　寄附額は、令和３年度は寄附がなく、４年度は３００万円、５年度は70万円であり、税額控除額は、４年度が約４５０万円、５年度が約６５０万円、６年度が約１１００万円である。

■選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

令和６年12月18日で任期満了となるので、選挙により次の方が当選されました。（任期４年）

委員

神谷（かみや）　強（つよし）　氏（３期目・今川町）

磯部（いそべ）　一智（かずとも）　氏（３期目・野田町）

中村（なかむら）　智（さとし）　氏（２期目・神明町）

赤松（あかまつ）　妙子（たえこ）　氏（１期目・稲場町）

補充員（委員に欠員があるときに番号順に補充されます。）

①**杉本（すぎもと）　常男（つねお）　氏**（２期目・高松町）

②**竹内（たけうち）　裕子（ゆうこ）　氏**（３期目・高津波町）

③**早川（はやかわ）　一美（かずみ）　氏**（２期目・泉田町）

④**野尻真由美（のじりまゆみ）　氏**（１期目・松栄町）

■固定資産評価審査委員会委員の選任について

令和６年12月20日で任期満了となるので、次の方を選任することに同意しました。（任期３年）

山下（やました）　博子（ひろこ）　氏（３期目・広小路）

■人権擁護委員の候補者の推薦について

令和７年３月31日で任期満了となるので、次の方を推薦することに異議ない旨答申しました。（任期３年）

柴田（しばた）　直幸（なおゆき）　氏（１期目・小垣江町）

固定資産評価審査委員会とは…
固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服申立てについて、審査決定をする機関です。

人権擁護委員とは…
国民に保障されている基本的人権を守るため、法務大臣より委嘱されています。市長は議会の意見を聞き、法務大臣に推薦します。

議決結果一覧表

（※）…賛否が分かれたもの

・選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について　**当選**
・専決処分について（令和６年度刈谷市一般会計補正予算（第４号））　**承認**
・固定資産評価審査委員会委員の選任について　**同意**
・人権擁護委員の候補者の推薦について　**異議ない旨答申**

【企画総務委員会関係・６議案】　**全て可決**
・土地区画整理事業に伴う町及び字の区域の設定について
・刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について（※）
・刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について（※）
・特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について（※）
・職員の給与に関する条例の一部改正について（※）
・刈谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について（※）

【福祉産業委員会関係・５議案】　**全て可決**
・指定管理者の指定について（刈谷市立くすのき園、刈谷市立すぎな作業所、刈谷市心身障害者福祉会館、老人デイサービスセンターひまわり、刈谷市養護老人ホーム及び高齢者交流プラザ）
・指定管理者の指定について（刈谷市一ツ木福祉センター）
・指定管理者の指定について（刈谷市生きがいセンター）
・指定管理者の指定について（刈谷市産業振興センター）

【建設委員会関係・２議案】　**全て可決**
・指定管理者の指定について（刈谷市公共駐車場）
・工事請負契約の締結について（ウイングデッキ整備工事（下部工）（週休２日））

【市民文教委員会関係・６議案】　**全て可決**
・指定管理者の指定について（刈谷市青山斎園）
・指定管理者の指定について（刈谷市交通児童遊園）
・指定管理者の指定について（刈谷市立おがきえ保育園）（※）
・工事請負契約の変更について（住吉小学校擁壁改修工事）
・指定管理者の指定について（コミュニティ施設）
・指定管理者の指定について（亀城グラウンド及び双葉グラウンド）

【令和６年度補正予算関係・７議案】　**全て可決**
・刈谷市一般会計補正予算（第５号）（※）
・刈谷市刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）（※）
・刈谷市刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）（※）
・刈谷市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）（※）
・刈谷市介護保険特別会計補正予算（第２号）（※）
・刈谷市水道事業会計補正予算（第１号）（※）
・刈谷市下水道事業会計補正予算（第２号）（※）

【請願・４件】　**全て不採択**
・刈谷城建設の是非について刈谷市民にアンケートを求める請願（※）
・子どもたちの豊かな育ちを保障する制度の充実・拡充を求める請願（※）
・ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願（※）
・介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願（※）　**可決**

【追加上程・１議案】
・令和６年度刈谷市一般会計補正予算（第６号）　**可決**

【議員提出議案・１議案】
・刈谷市議会個人情報保護条例の一部改正について（※）　**可決**

請願の提出方法についてはこちら→

12月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。（○：賛成　×：反対　－：欠席）

議案名及び議決結果＼会派名及び議員名		自民クラブ							市民クラブ						公明クラブ			清風クラブ			無所属の会議員		日本共産党議員団	にじいろの会	参政党	日本維新の会	議長	副議長
		大山　実	葛原　祐季	加藤　幹樹	近藤　澄男	鈴木　正人	加藤　廣行	稲垣　雅弘	佐々木隆教	伊藤　愛恵	鈴木　定晴	深谷　英貴	中嶋　祥元	佐原　充恭	武藤美智代	谷口　睦生	松永　寿	上田　昌哉	新海　真規	星野　雅春	鈴木　絹男	蜂須賀信明	山本シモ子	城内　志津	森島　公祐	三田　真弥	外山　鉱一	揚張　慎一
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－	○	議長のため、採決に加わらない	○
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	－	×		○
特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	－	×		○
職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×		○
刈谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×		○
指定管理者の指定について（刈谷市立おがきえ保育園）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－	○		○
令和６年度	刈谷市一般会計補正予算（第５号）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	－	×		○
	刈谷市刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×		○
	刈谷市刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×		○
	刈谷市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	×		○
	刈谷市介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	×		○
	刈谷市水道事業会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	×		○
	刈谷市下水道事業会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	×		○
刈谷城建設の是非について刈谷市民にアンケートを求める請願	不採択	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×		×
子どもたちの豊かな育ちを保障する制度の充実・拡充を求める請願	不採択	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×		×
ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	－	×		×
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	不採択	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	－	×		×
刈谷市議会個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○

※森島公祐は議事の途中から出席

議会トピックス

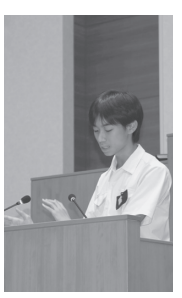
■中学３年生が議会を体験

本市の中学３年生が「地方自治制度学習」として市議会を訪れました。

議場では、生徒が議員席や理事者席に座り、議会の仕組みを学びました。次に、図書館の新設条例を題材にして、実際に議案が議決されるまでの流れを体験しました。市長役による議案説明の後、市民文教委員会を想定したグループに分かれ、その賛否の議論を行いました。

討論では、新しく図書館ができることで、子供から大人まで使える学習や交流の場ができるため賛成との意見や、自分のスマホなどで電子書籍を読む人が増えている中、新しい施設ではなく既存の図書館を充実すべきと考えるため反対との意見など、様々な視点から意見が出され、議員さながらの白熱した議論が展開されました。グループの意見を発表する「委員長報告」の後、「採決」を行い、議案の賛否を決定しました。

【生徒の感想】
・実際に話し合ってみて、一人一人の意見は違っていてもそれぞれに大切な根拠があり、刈谷市民を思う気持ちは一緒であることが分かった。
・刈谷市の未来を決めていくのは私たちであるため、政治に関心を持ち、18歳になったら絶対に選挙へ行こうと思った。
・多くの資料を基に様々な視点を持って考えなければならないので、とても難しかった。市の代表がどのように市をよくしていくかを考えていることが理解でき、選挙で選ぶ私たちの重要性を実感した。
・市民の暮らしをより良いものにするために、良い点も悪い点も確認してから結論を出していることが分かった。生活に密接に関わる市議会を体験でき、市の取組を一人の市民として積極的に見ていきたい。



市とするために

各委員会で先進事例を視察～

※…掲載した項目

◆福祉産業委員会（10月16日～18日）

千葉県浦安市	浦安市認知症とともに生きる基本条例について
埼玉県北本市	北本団地商店街の活性化に向けた取組について
※東京都杉並区	成田西ふれあい農業公園について 農福連携事業について

◆企画総務委員会（10月16日～18日）

兵庫県たつの市	定住自立圏域における中心市としての取組や展望について
※香川県坂出市	防災、減災の取組について
香川県高松市	スマートシティの推進とデータ利活用による各分野への展開について

農とふれあえる都市農業の多様な在り方 ー農業公園と農福連携農園の事例を学ぶー

福祉産業委員会委員長　稲垣　雅弘

目　的

都市部における農業の多様な在り方と、農業公園と農福連携農園の事例を学ぶ。

視察内容

杉並区には、農業公園として成田西ふれあい農業公園があり、土づくりから栽培方式までを実践して身に付けられる。また、有機肥料を使うことで、自然の循環や食の安全が学べるほか、子供への農業体験教室や公園サポーターの育成等も行っている。福祉分野における農園としてすぎのこ農園があり、農業・園芸活動を通じて得られる心身のリハビリ効果や共同作業によって社会参加することができる。

所　感

都市農地の持つ、緑地の提供・災害時のオープンスペースの確保という機能を理解してもらい、土づくりから、作付け、収穫、販売という農に触れ、安全な食の提供、作業における連携、ボランティア等で地域での役割、生きがいの創出を図る活動の場としての地域農園事例として学ぶべき点が多々ある。また、農福連携として、就労支援のための技術の習得と農業者との結びつきの場を提供し、社会的適応に困難を抱える不登校生徒の社会参加、復帰のための活動の場として重要な役割を果たす施設であった。

すぎのこ農園を現地視察

南海トラフ地震を想定した防災・減災 ー持続可能な防災施策を考えるー

企画総務委員会委員長　葛原　祐季

目　的

女性ならではの視点を活かした防災対策と防災の専門知識を持つ人材育成により危機管理体制の強化を推進する坂出市の事例を学ぶ。

視察内容

坂出市は、女性職員を中心とした「さかいで１３１（ぼうさい）おとめ隊」を組織し、地域コミュニティーにおける防災活動の担い手として定期的な訓練や、防災啓発活動、避難所運営のサポートなどに取り組んでいる。また、専門知識を持つ「防災･危機管理スペシャリスト」育成プログラムにより、災害発生時だけでなく災害リスク管理や危機管理体制の強化も重視されており、行政と市民が連携して防災体制を構築している。

所　感

女性が中心となって活動する取組は、男女共同参画の観点からも価値のある取組である。災害時には、性別や年齢によって異なるニーズが生まれるため、「さかいで１３１（ぼうさい）おとめ隊」による女性視点の防災活動の重要性は非常に高い。「防災･危機管理スペシャリストの養成」については、専門知識を持つ市民リーダーを育成することで、市全体の防災力向上が期待できる。女性や地域住民が積極的に参加できる防災体制の構築や、専門知識を持つ人材育成を推進することが、持続可能な防災体制の確立につながる。

女性の視点を取り入れた防災活動を学ぶ

の　動　き

主に次のことについて、質問などがありました。

福祉産業委員会

自殺対策計画推進事業

問　こころのケア教室とは。

答　生徒を対象とした取組として、市内の高校との協議や調整を踏まえて企画したものである。今年度は、刈谷工科高校、刈谷東高校、刈谷北高校の計３校で、相談に対する抵抗感の低減などを目的に、臨床心理士を講師とし、ＳＯＳの出し方やストレスへの対処方法などについて講義を行うものである。

問　高校だけでなく、小学校や中学校でも開催することは考えているか。

答　教育委員会や各学校と相談しながら、実施について検討していきたい。

その他「高齢者配食サービス事業」「農業者支援」「重層的支援体制整備事業」などがありました。

企画総務委員会

市民だよりの配付方法の変更

問　市民だよりの配付方法が、地区による配付から民間業者による配付となるが、その理由は。

答　市民だよりについては、以前から、仕分や配付作業が負担であるという声が地区から寄せられており、また配付作業を行う方の多くが自治会へ加入していることから、自治会への加入をためらう要因の一つとなっていたため、負担を軽減し自治会活動に専念してもらい、地域活動の活性化につなげるためである。

問　今までのようなきめ細かい対応は民間業者に引き継がれるのか。

答　配付作業の中で、特段の取決めのある施設などについては、その内容の引継ぎを確実に行い、スムーズな移行を目指す。

その他「チャットＧＰＴ」「南海トラフ地震臨時情報」「置き配の盗難対策」などがありました。

より魅力ある刈谷

～住みたい、住み続けたい刈谷市を目指して、

◆市民文教委員会（10月23日～25日）

神奈川県秦野市　部活動の地域移行について
茨城県水戸市　自治会の加入促進施策について
※東京都渋谷区　渋谷区子育てネウボラについて

機能集約における切れ目ない子育て支援 ー渋谷区子育てネウボラの取組ー

市民文教委員会委員長　佐原　充恭

目　的

妊娠期から18歳までの全ての子供とその家族をサポートする取組を学ぶ。

視察内容

渋谷区は、令和３年８月に保健相談所、教育センター、子ども発達相談センター、子ども家庭支援センターなどの子育て支援機能を集約した拠点施設「渋谷区子育てネウボラ」をオープンした。施設内にはプレイグラウンド、カフェ、子育て広場などを備え、遊びに来たついでに相談ができるようになっており、同じ施設内にある各機関が連携することで切れ目ない支援を実現している。

所　感

18歳までの子育てに関するあらゆる相談をワンストップで受ける施設・機能の重要性を改めて感じた。相談の入り口がどこであれ、施設内や関係機関との連携により速やかに対応できる。伴走支援する担当保健師の存在も相談のハードルを下げる効果があると思われる。また、同じ施設に教育センターが入居しており、教育と福祉が垣根を越えて連携していることも大変良い。本市は分散した各機能を強化しているが、渋谷区のように集約できれば、さらに機能は向上する可能性があると感じた。

渋谷区子育てネウボラを現地視察

◆建設委員会（10月23日～25日）

※栃木県小山市　小山市コミュニティバス「おーバス」利用促進プロジェクトについて
茨城県ひたちなか市　佐和駅周辺地区整備事業について
埼玉県草加市　公園情報アプリ「PARKFUL（パークフル）」との連携について

市民に寄り添ったコミュニティバスの利用を促進 ー魅力的な取組によるバスのある暮らしづくりー

建設委員会委員長　谷口　睦生

目　的

利便性の高い公共交通サービスを提供し、マイカーからの転換を図るコミュニティバスの利用促進に向けた先進的な取組を学ぶ。

視察内容

小山市では、市内の移動手段としてバスの利用割合は１％未満と非常に低く、高齢者をはじめ市民の自動車への依存度が高い。バスへの転換を図るため、コミュニティバス「おーバス」利用促進プロジェクトとして、ＬＩＮＥ公式アカウントを使った全線乗り放題のモバイル定期券の導入やバスを身近に感じてもらえる生活情報誌の発行などに取り組み、その取組がグッドデザイン賞などを受賞している。

所　感

小山市は、市民や利用者の声に耳を傾けながら、毎年のように運行ルートの見直しや増便など路線の再編を実施している。また、令和７年度には、居住誘導区域内の運行間隔を１時間に２本とし、時間帯を朝６時台から夜10時台に拡充し、通勤時間帯における移動手段の選択肢にバスを含められるようなサービスの提供を目指している。本市でも「かりまる」の運行に対する市民からの御要望を多く頂く中にあっては、小山市のような市民に寄り添った公共交通サービスを提供する取組は参考になる事例であった。

バス利用促進の取組を学ぶ

委　員　会

委員会では、議案、請願の審査のほか、

市民文教委員会

放課後児童クラブの弁当配達

問　弁当配達サービスについて、業者選定プロポーザルで業者が決定したとのことだが、その決め手は何か。

答　今回の審査を、利用者、支援員、管理栄養士、子育て推進課職員によって実施したところ、利用者である保護者の採点で、特に大きな差が出ている。子供向きであるかどうかといった弁当の内容やキャンセル期限などの注文の仕組みが影響していると思われる。

問　お弁当の配達サービスを利用した保護者の声はどうか。

答　おかずがおいしかった、家事負担の軽減ができたとの声があった。その一方で、価格や注文・キャンセルの時期などについて、改善を求める意見も頂いた。

その他「自治会・公民館の支援」「歴史教育」「史跡資料収集」「子ども・若者総合相談窓口」などがありました。

建設委員会

刈谷市公共施設連絡バスの再編

問　かりまるの有料化に対する考え方はどのようか。

答　今回の再編では、市民ニーズに合った「市民の日常の暮らしを支えるバス」へと位置づけを変更し、利便性の向上と合わせて、有料化を実施することで、持続可能な公共交通サービスの確保につなげる。

問　公共施設連絡バスの名称は変わるのか。

答　刈谷市コミュニティバス「かりまる」に変更する予定である。

問　高齢者や障害者等への運賃割引制度はどのように考えているか。

答　高齢者や障害者、運転免許返納者等の交通弱者に対する配慮が必要であると考えており、今後は、意見交換会や都市交通協議会で頂いた意見や他市町の状況を参考に運賃割引制度の検討を進める。

その他「依佐美工業団地（２期）地区の都市計画決定」「水道水のＰＦＡＳ（ピーファス）」などがありました。

一般質問
市政のここを問う

この定例会では、12月4日から6日までの3日間で17人が登壇し、42項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順）　※…掲載した項目

谷口睦生　議員
※1 学校におけるDXの推進について
2 電子図書館システムの利用状況について

鈴木絹男　議員
1 社会、公民、政治経済教育について
※2 亀城公園再整備について

森島公祐　議員
1 地域との絆を深める教育について
※2 不登校について
3 GIGAスクール構想について

鈴木定晴　議員
※1 スポーツを通じた健康づくりについて

佐原充恭　議員
※1 市中心部の園児・児童生徒の増加予測と対応について
2 障がい者就労支援施設等からの物品等の調達について
3 DX推進と情報セキュリティー対策について

武藤美智代　議員
※1 こども家庭センターについて
2 準用河川の除草について
3 風しんの追加的対策について

深谷英貴　議員
※1 令和7年度当初予算編成について
2 誰もが安全かつ安心して暮らせるまちづくりについて

新海真規　議員
※1 不登校対策について
2 市民館の運営について

伊藤愛恵　議員
1 図書館の魅力向上について
※2 学校部活動について

葛原祐季　議員
※1 教育文化のブランディングについて

上田昌哉　議員
※1 刈谷城建設について
2 公共施設維持について
3 20歳以下の人口動態について

鈴木正人　議員
1 消防団について
2 避難所施設の環境対策について
※3 市制施行75周年について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。
「刈谷市議会」で検索し、「**議会映像を見る**」をクリックしてください。

谷口睦生　議員
更新時期を迎える小中学校の タブレット端末の適正な処分計画を!!

問 小中学校に配備された1人1台のタブレット端末の更新計画と国の補助内容は。

答 5年間のリース契約が満了する令和7年度に児童生徒及び教員の全ての端末を新たな端末へ入れ替えることを検討している。端末機器及び事業者の選定は、今後、県の共同調達により行われる予定である。補助は、端末本体と端末に係る運搬費及び設置・据付け費が対象で、対象数量は全児童生徒数と予備機数である。補助率は、補助対象経費の3分の2で、1台当たりの上限は5万5千円である。

問 更新後の現行のタブレット端末の取扱いは。

答 リース契約期間満了後の端末は、市への無償譲渡となり、資源を有効利用する再資源化などの処分を検討している。

問 処分の際にデータの消去が不十分で個人情報漏えい等を懸念するが、処分の方針は。

答 端末内のデータ消去や再資源化について、関係部署へ相談しながら、国からの通知に従って、適正に処分ができるよう、今後の方針を決定していく。

鈴木絹男　議員
先人たちがたゆまぬ努力をしてきた 歴史を感じられる公園へ再整備を!!

問 刈谷城復元の可能性についての見解はどうか。

答 刈谷城の石垣や隅やぐらなどは、計画当初からできる限りの検討を積み重ね、史実に基づいた復元を目指してきたが、国が新たに示した「復元的整備」を参酌し、歴史的建造物の構造等の一部について、多角的に検証し再現を目指す。

問 亀城公園を通して、先人たちのたゆまぬ努力を忘れず、刈谷市民としてのアイデンティティーや一体感を感じられることが大事だと考える。新しいコンセプトの城址公園として刈谷城復元を追及する市長の見解はどうか。

答 お城は公園内の施設として安全性や耐震性を確保する必要があり、人的被害が発生しないよう、伝統工法による整備を原則とし、補助工法として現代工法を取り入れたい。また、現在取り組んでいる隅やぐら等の整備は、城下町として発展してきた本市の成り立ちへの理解や、先人たちの思い描いた「慰楽休養に備える」といったことへの実現にも寄与できると考える。

森島公祐　議員
不登校児童生徒や保護者から 望まれる支援を!!

問 不登校の児童生徒にどのような支援をしているか。

答 教職員とスクールカウンセラーやスクール・ほっと・アシスタント、心の教室相談員等が連携し、相談活動をしている。また、各中学校では、ほっとルームを設け居場所づくりや教室復帰を支援するほか、すこやか教室を設置し、学校等と連携し、学校復帰等を支援している。

問 不登校の児童生徒や保護者が求める支援と学校側の支援にずれはないか。保護者とのコミュニケーションは、ずれを修正する糸口になると思われる。保護者の不安を解消する取組はどのようか。

答 すこやか教室では、毎月親の会を開催し、すこやか教室に通う子供を持つ保護者が集まり、子供の生活の様子や保護者の願い等を共有する機会を設けている。また、子ども相談センターでは、子供の悩みや問題の相談を受けている。さらに、長期欠席の子供や保護者を対象とした進路説明会を開催している。今後も保護者の不安を取り除くことができるよう努めていく。

鈴木定晴　議員
市の魅力の一つに「スポーツのまち刈谷」 と言える環境づくりを!!

問 第3次刈谷市スポーツマスタープランの進捗状況はどのようになっているか。

答 成人の週1回以上のスポーツの実施率を令和10年度までに65％以上とすることを目標としている。市民意識調査の結果は、平成28年度の44・6％から今年度は49・4％に増加した。

問 ホームタウンパートナーとの連携について取組状況と今後の方向性はどのようか。

答 連携については、チームの選手やスタッフを講師に迎え、小中学生を対象にした刈谷キラキラ教室の開催に御協力いただいている。今後の方向性としては、市民の「する」「みる」「ささえる」スポーツの機会の充実を図る。

問 スポーツ推進審議会での意見とそれに対する対応はどのように考えているか。

答 学校体育施設の予約が取りにくく、活動場所確保が難しいという意見がある。そのため、企業体育館等の活用の可能性を調査・研究するとともに、既存施設の有効活用などスポーツ活動への環境づくりに努める。

佐原充恭　議員
刈谷南中学校区の保育・学校施設の キャパシティー不足を防止する対策を!!

問 マンション建設が相次ぐ刈谷南中学校区では今後どれくらいの児童生徒数の増加が見込まれるのか。

答 全戸数に対する居住の児童生徒数の割合から推計すると、住吉小学校では約60人、亀城小学校では約30人、刈谷南中学校では約40人の増加が見込まれる。

問 現状の刈谷南中学校区の学校施設のキャパシティーはどうか。

答 現状のクラス数を保持した場合の各学年の最大人数と令和6年11月1日現在の児童生徒数を比較すると、住吉小学校ではあと数人で最大人数を超える学年が3学年あり、刈谷南中学校では最大人数に達している学年が1学年ある。

問 万一、刈谷南中学校区の保育施設と学校施設でキャパシティーを超えてしまう場合の対応はどのようか。

答 幼児園・保育園では、受入れ枠に余裕がある他園や認可外保育所等を案内するような調整を図り、小学校・中学校では、当面は特別教室を普通教室に改修する対応を考えている。

星野雅春 議員
※１ 刈谷市の防犯施策について
２ 刈谷城建設について
３ 令和７年度予算について

城内志津 議員
１ 亀城公園整備事業の進め方について
※２ バリアフリー化の推進について
※３ 子どもの多様性を大切にすることについて

中嶋祥元 議員
※１ 公共施設の市民満足度向上について
２ 都市交通戦略について

山本シモ子 議員
※１ 子どもの成長を見守る公的な役割の堅持について
２ 魅力あふれる公園づくりについて
３ 厳しい市民生活を応援する施策について
４ マイナ保険証への移行状況について

稲垣雅弘 議員
１ 市制75周年記念事業について
２ 広報誌発行について
※３ 楽しい公園づくりについて

武藤 美智代　議員
こども家庭センターの設置で子育てに悩む家庭に切れ目のない支援を!!

問 こども家庭センターの役割は何か。

答 母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、虐待の予防から子育てに困難を抱える家庭まで、切れ目なく、漏れなく対応することを目的とした組織である。また、家庭支援事業をはじめとする地域資源を組み合わせ、具体的な支援を届ける中核的機能を担っていくことが期待されている。

問 こども家庭センターの設置時期と業務内容はどうか。

答 設置時期は、令和７年４月を予定している。業務内容は、従来の妊娠期から出産、子育ての過程において、母子の健康保持・増進、子の発達・発育に関する相談支援などに加え、子育てに不安を抱える家庭の個々の課題等に適したサービスを検討し、サポートプランとして支援の内容を組み立て、プランに沿った支援が適切に提供されるよう関係機関のコーディネートを行い、さらに、変化する家庭の状況に応じて、支援内容の見直し等を含めた継続的なマネジメントを実施する。

深谷 英貴　議員
「元気・笑顔・希望のまちづくり」を積極的に推進する令和７年度予算を!!

問 国の動きの今後の見通しについて、市の見解は。

答 33年ぶりの高水準の賃上げや企業の設備投資は史上最高の水準となるなど、前向きな動きもあるが、物価上昇の影響や世界経済の下振れなどのリスクも残っており、今後の動向を注視していきたい。

問 刈谷市の今後の財政状況の見通しは。

答 歳出面は人件費や医療、介護等の扶助費が増加しており、国の重点施策などへの対応や物価高による歳出増加は続くと考えている。歳入面は、給与所得等の増加や企業業績の好調を受け、堅調に推移すると見込んでいるが、さらなる財源の確保が必要と考える。

問 令和７年度の予算編成における重点項目は。

答 デフレ完全脱却の実現に向けた施策や少子化対策、子供政策の抜本的強化など、新たなステージに向けた取組を加速させ、本市を取り巻く環境の変化や市民ニーズを的確に捉え、市民サービスのさらなる充実を図っていく。

市民サービスの充実を図るための予算編成を

新海 真規　議員
誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策を!!

問 文部科学省が不登校対策として発表したCOCOLOプランにおいて、学びの多様化学校の目的と機能はどのようか。

答 学習機会を確保し、不登校児童生徒が学習を継続できるようにすること、個々の児童生徒のニーズに応じた柔軟な教育環境を提供すること、児童生徒が社会に適応し、自立できるようサポートすることを目的とする。また、児童生徒の実態に合わせた学習課程の編成や、個別の指導やサポートにより、児童生徒が安心して学べるよう、柔軟で多様な学習環境を整備することを機能とする。

問 刈谷市で学びの多様化学校の設置を検討しているか。

答 検討していないが、各中学校のほっとルームでスクール・ほっと・アシスタントが、小学校の別室で心の教室相談員が、子供たちに寄り添い、安心して過ごせる居場所づくりに努めている。また、登校が難しい子供たちの学校復帰を目指して、すこやか教室を3か所設置し、支援している。今後もこうした取組を改善しながら継続したい。

伊藤 愛恵　議員
現場の現状と今後を見据えた中学校部活動の地域移行の在り方の検討を!!

問 10月から中学校部活動の休日練習が月2回までとなったが、どのような反応や影響があったか。

答 保護者が自主的に練習場所を確保して活動に立ち会うなど、クラブとして練習する例があった。また、土日の活動が減り、生徒や教員の生活にもゆとりが見られるなどの変化があったと感じるとの声も聞いている。

問 部活動指導に積極的に従事したいと考える教員に、適正な報酬を支給した上で指導者を続けてもらう方法はあるか。

答 兼職兼業を許可するという形があるが、勤務校での業務への影響や健康への配慮などが必要と考える。

問 子供が部活動以外の新たな体験機会を獲得できるといった地域移行によるメリットや、教員の働き方における課題等を踏まえた、今後の取組の方向性は。

答 外部指導者の充実を図り、当面は学校部活動の形を維持しながら地域連携を進め、国や県の動向も注視し、本市の部活動の在り方を検討していく。

葛原 祐季　議員
刈谷の優れた教育文化をまちのブランドとして育てては!!

問 刈谷市の教職員による授業研究の特徴と成果は何か。

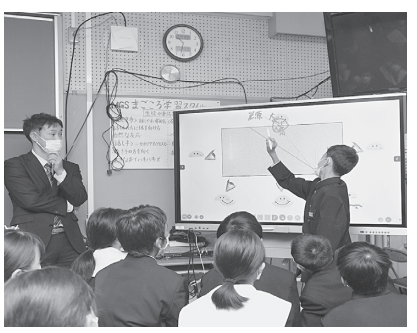
答 学校ごとに「学ぶ喜びを感じる児童の育成」「自ら学びを追究する子どもの育成」などのテーマを決め、授業研究に取り組んでいる。成果のひとつとして、ソニー子ども科学教育プログラムの教育実践論文においては、これまでに市内全ての中学校と2つの小学校が延べ19回最優秀校を受賞している。

問 刈谷市の児童生徒の学習における成果はどのようか。

答 全国学力学習状況調査において、国語や算数・数学などでは、全国の平均正答率と比較して満足できる状況である。

問 刈谷市の教育文化をブランディングすることへの考え方はどうか。

答 それぞれの機会に向けて努力する子供たちと、それを支える先生方の姿からは、日々の積み重ねを大事にしてきた刈谷の教育の歴史を感じる。これからも、子供たちの成長を願い、地道な取組を継続していくことで、刈谷のよさを分かっていただけるよう努めていく。



優れた教育文化のブランディングを

上田 昌哉　議員
刈谷城建設の是非を改めて考えるべき!!

問 刈谷城は歴史的、文化的建造物として建設されるのか。

答 できる限りの内容と体制で多角的な分析や検証を行う中では、刈谷城の石垣や隅やぐらは刈谷城址が持つ歴史的、文化的な価値を高める建造物であると考えている。

問 過去に何度も質問しているが、刈谷城建設の根拠は何か。

答 幅広く市民の皆様の御意見を伺って策定した魅力あふれる公園づくり構想で掲げる亀城公園の将来像「刈谷の歴史を次世代に語りつなぐシンボル公園」の実現を目指して、刈谷城址としてふさわしい整備の推進をきっかけに、歴史や文化をテーマとした様々な取組を促し、新たな憩いや賑わいを創出することで、公園全体の魅力の向上を図っていく。

問 建設の是非に関する市民アンケート等は実施しないか。

答 石垣や隅やぐらの整備は、第8次総合計画や魅力あふれる公園づくり構想等の中で位置づけられているため、改めて是非を問うような市民アンケートの実施は考えていない。

鈴木 正人　議員
市制施行75周年と非核平和都市宣言の制定への市長の思いは!!

問　市制施行75周年の大きな節目の年を迎えるに当たっての市長の思いや現在の取組、今後目指していることは。

答　周年記念の様々な取組を通して市民に本市の特色やすばらしさを改めて感じていただき、郷土に対する愛着と誇りを持っていただけるきっかけになるよう市制施行75周年を盛り上げていきたい。また、市制施行75周年であると同時に、終戦80年という節目の年でもあり、令和７年には非核平和都市宣言を制定し、これまで願い続けてきた核兵器のない恒久平和の実現を明文化することについて考えていきたい。

問　非核平和都市宣言をすることによってどのように平和な世界につながっていくと考えているか。また、どのような意義があると考えているか。

答　本市が恒久平和を願うまちであり、今後も積極的に取り組んでいくその姿勢を目に見える形でお示しすることは、市民に改めて郷土への愛着や誇りを持っていただく機会となると思っている。

星野 雅春　議員
事故や犯罪の解決に役立つ防犯カメラ設置にしっかりとした補助を!!

問　闇バイトなど、現在の社会情勢についての認識は。

答　闇バイトを介した強盗事件が昨今、関東地方をはじめ全国各地で発生し、市内においてもその前兆行為と思われるような業者の訪問があったと警察などから聞いて認識している。本市では、街頭防犯カメラの設置や青色防犯パトロール車による巡回等による防犯対策を実施している。また、市内で起こっている犯罪情勢やその対策など、刈谷警察署等から提供された情報を基に、あいかりやＬＩＮＥ、市民だより等で随時発信するとともに、防犯用具の購入費補助制度や不審電話防止装置の活用について周知し、不安の解消と市民一人一人の防犯意識の向上を図っている。

問　防犯カメラの補助について、どのように考えているか。

答　犯罪認知件数は、近年増加に転じている状況であり、昨今の凶悪な強盗事件が多発している状況を踏まえ、現在、家庭用防犯カメラ購入に対する補助など、さらなる対策について検討している。

城内 志津　議員
バリアフリー化は当事者と推進し、児童館は18歳までの居場所となる取組を!!

問　車椅子ユーザーから、かりまるバス乗降時の運転手の介助への不安など、利用しづらさの声が届いている。実際にバスを利用しながら、当事者と運転手の相互理解を図り、他の乗客にも知ってもらうことで、皆が気持ちの良い車内環境を目指すことを目的としたコミュニケーション研修を実施しないか。

答　事業者に対して、乗務員には年１回、新人乗務員には必ず研修を行うよう話をしている。様々な機会を捉えて、障害のある方と乗務員が意見交換できる場を設けていく。

問　児童館はゼロ歳から18歳までの全ての子供たちが無料で利用できる児童福祉施設だが、小学生以上の利用が少なく、中学生の利用は全体の僅か２・４％である。18歳までの児童が利用しやすい取組をしないか。

答　小学生未満の児童や保護者の居場所が圧迫されることは本意ではないと考えている。まずは居場所の数を増やしていき、児童館も含め、中高生にも多様な居場所を提供できるよう取り組んでいきたいと考えている。

中嶋 祥元　議員
公園の駐車場対策、ドッグラン、おむつ台設置等で市民満足度向上を!!

問　ミササガパークやフローラルガーデンよさみの駐車場の看板が見にくい。また入り口が狭いため安全対策が必要では。

答　県の設計基準等に基づき整備している。フローラルガーデンよさみでは看板付近が植栽の繁茂等で見にくくなっていた。植栽剪定や新たな看板設置等の対策を検討していく。

問　魅力あふれる公園づくり構想のアンケートの中で、市民からドッグランを設置してほしいという要望がある。衛生面等を配慮すると、ペットエリアを層別すべきと考えるがどうか。

答　ペットの多い公園ではマナーに関する案内板を設置している。また管理スタッフによる巡回では速やかに清掃を実施しており、一定の効果があるため、エリア分けは考えていない。

問　公共施設、特に公園において、男性トイレ、女性トイレ問わず、ベビーベッドを設置するべきと考えるがどうか。

答　トイレの新設や大規模改修の際は、施設の利用状況や使い方を考慮して、男性トイレ、女性トイレに設置を検討する。

山本 シモ子　議員
子供、保護者が安心して通園できる保育所に冷蔵庫設置を!!

問　乳児園化は、子供や保護者に新たな負担をかけている。なぜ乳児園にしたのか。

答　２歳児までのクラスに待機児童が多く、保育需要に対応するため、乳児園化による受入れ枠の拡大を図ることとした。

問　保育を分断している乳児園・幼児園化はやめ、元の保育園に戻すべき。

答　元の形に戻すことは、現段階では検討していない。

問　２歳未満児の育休退園は子供や保護者を悲しませている。育休退園の基準をなくすべき。

答　より保育を必要とする方が園を利用できるよう保育の要件を定めている。今年度から育児休業を取得しても園を利用できる条件を緩和するなど、極力寄り添った運用を行っている。

問　冷蔵庫のない室内にお弁当を置くことは衛生上、問題がある。冷蔵庫を設置すべき。

答　お弁当は育成室内のロッカーに入れて保管している。児童の健康管理の面からも室内の空調管理を徹底し、一定の温度に保っているため、冷蔵庫の使用は考えていない。

稲垣 雅弘　議員
学校・家庭・地域連携の受皿の一つとしてプレーパークの導入を!!

問　子供の冒険遊び場として、各地の公園や神社、お寺の境内などにプレーパークが設置されている。他の自治体では、小学校の校庭にプレーパークを開設し、放課後だけでなく、土日の活動を通して学校・家庭・地域の連携づくりにも役立てている事例があるが、教育的効用についての考えは。

答　プレーパークは、一般的に禁止事項を極力少なくして、子供がやってみたいと思ったことを自分たちで実現できるよう目指した遊び場と言われている。プレーパークでは、何をして遊び、どう過ごすかを自分で決めることにより、自主性や主体性が育まれるほか、集団で遊ぶ際のルールづくりなどの場面でお互いの意見を聞き、合意形成を目指すなど、他者と関わる力が形成され、社会性が身に着くと考えられる。また、自分の力で工夫しながら挑戦し、成功や失敗の体験を繰り返すことで自分を知るとともに、体全体を使った遊びをすることで心身ともにバランスの取れた成長が促される効果があると言われている。

編集後記
～かけはし～

◆市民意識調査の結果が出ました。配布は５０００票、回答は２９６６票で回答率は59・３％でした。住みやすさは２００４年の76・５％から２０２４年は85・５％に上昇しています。反面、市に対して誇りや愛着を感じている市民は２０１４年の75・８％から２０２４年は64・１％に下がっています。刈谷市を住みやすいと感じてくださることは大変嬉しいことですが、住んでいるまちに愛着を感じる方が減っていることは残念です。また、アンケートでは、歴史や文化財の保護活用の重要度は最も低くなっていました。刈谷市の歴史に関心を持っていただくことと、刈谷市に誇りや愛着を感じてもらうことはつながっているのではないかと思います。刈谷市は徳川幕府の祖である家康の母、於大の方の縁の地であり、日本のエジソンと呼ばれる加藤与五郎博士が生誕した地でもあります。また、トヨタ自動車は豊田自動織機の自動車部から始まり、依佐美送信所はＩＥＥＥマイルストーンに認定されています。市民の皆様に愛着を持ってもらえるよう、一層市に働きかけていかねばならないと思うばかりです。

◆今回の執筆にあたり、編集後記を「かけはし」と名づけたのは、故山崎高晴議員とお聞きしました。３期12年にわたって刈谷市議会を支えられた先輩議員の想いを胸に、市民の皆様が刈谷市に住んでよかったと言っていただけるよう、また、市と市民の皆様との「かけはし」に一層なれますよう委員一同誠心誠意務めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（議会広報委員会）